

学校運営計画					
学校運営方針		「勤労・廉直・恭敬」という校訓のもと、文武両道の実践により生徒個々の学力の伸長を図るとともに部活動指導を充実させ、勤勉で自主自律の精神を持ち、思いやりのある生徒を育成する。			
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標			
	<p>平成24年度から進学重視型単位制に改組し、単位制二期生の卒業となった今年度の大学入試結果は、現役国公立大学合格数が昨年度より減少したが、実合格者数86名と健闘した。年次全体できめ細かな土曜講座や放課後補習等を行い、新入生研修や進路探究学習、学校設定教科「総合教養」、海外研修旅行を実施したことで、生徒に学習、部活動、学校行事に取り組む積極性が生まれたように見受けられる。部活動においては、県大会のみならず、北信越大会や全国大会などの上位大会において多数の生徒が参加し活躍した。</p> <p>今後は更に、進学重視型単位制</p>	1 各教科の指導力を高め生徒に確かな学力を身に付けさせるとともに、生徒が積極的に学びに向かい、自分の進路を主体的に考え進路希望を実現できるようにする。	①学力分析を通して学力水準の向上を図る。	②授業の充実、シラバスの作成と改善などにより、生徒の学習環境を向上させる。	③教科の特性に応じた高校段階の学習スタイルを確立する。
2 学習活動と生徒会活動・部活動について教職員の共通理解を深め、現実的で効果の期待できる方策を工夫・探求し、実践する。		①生徒会や部活の運営・指導を充実させる。	②日・週単位の家庭学習時間を確保させる。	③部活動や余暇と学習との切り替え指導を徹底する。	④保護者や地域・近隣の学校・施設等との連携を深め、学校運営や生徒指導・社会活動等に活かす。
3 基本的な生活習慣を確立させ、保健と安全及び情報に関する自己管理能力を高めさせる。また、心の健康問題にも配慮した対応を行う。		①授業第一の規則正しい生活、服装・マナー指導の充実を図るとともに、挨拶を励行する。	②交通安全指導、大量消費社会・情報社会に必要な指導を図る。	③保健管理と保健教育を計画的に実施し、安全や健康への意識を高める指導の充実を図る。	④災害発生時に安全な行動がとれる意識・態度の向上を図る。
4 進学重視型単位制の円滑な推進に努める。		①進学重視型単位制推進に向けて、学校理念や教育課程の編成等に基づき、教育活動を実践する。	②進学重視型単位制推進に向けて、ホームページや説明会等をおして中学生、保護者及び中学校をはじめとする地域に対して情報を発信する。		
5 生徒の人権意識を高めるよう人権教育の充実を努める。		①いじめ等の発見から解決まで学校全体で組織的に迅速に対応するため、指導体制を確立する。	②人権意識を高める指導について工夫し、人権教育について教職員の共通理解を図る。	③いじめの未然防止に向けて計画的な指導を行うとともにいじめの起こらない学校づくりに努める。	
重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	評価部署	
1 各教科の指導力を高め生徒に確かな学力を身に付けさせるとともに、生徒が自分の進路を主体的に考え進路希望を実現できるようにする。	①現状の学力分析を通して、学力水準の向上を図る。	全教職員による校内進路研修を効果的に実施するとともに、模擬試験結果を年次および教科で分析し学力向上に役立てる。	A	A	
		模擬試験等の結果を職員で共有する。	A		
		学力分析を踏まえて不振者補習を含めた、補習の充実を図る。	B		
		模試問題の分析を通して進学に対応できる学力の向上を図る。	A		
	②授業の充実とシラバスの作成・改善などにより、生徒の学習環境の向上を図る。	職員間でプリント教材を共有し、指導法の検討を行う。	B	A	
		興味関心を高め学力を伸ばすために、教材研究を行う。（A L、I C T活用等を含む）	B		
		教科内外で授業を公開し、授業研究を進める。	B		
		ベル着の徹底を図る。	A		
		時間変更黒板の積極的な活用により自習時間を減らす。	A		
		シラバスを通して、授業改善・学習指導に役立てる。	B		
		図書館において生徒・職員の要望を把握し、適切な資料の収集と蔵書の整備に努めるとともに適切な資料の提供と積極的な情報発信に努める。また、電子化により資料の提供をより円滑にする。	A		
	共有フォルダ内のファイルを整備し、校内LANをより使いやすい環境にする。	A	A		
	学校行事、授業等で視聴覚器材を円滑に使用できるよう補助する。	A			
	③教科特性に応じた高校段階の学習スタイルの確立を図る。	B		B	
	ノートの取り方や学習方法を指導する。	B			
	④家庭学習の充実を図る。	学力不振の生徒に対して授業態度、ノートの取り方、考査前の学習、考査に対する考え方について個別に指導する。	B	B	
		それぞれの時期に身につけておくべき学習項目を週末課題として用意し、各教科で連携し課題を出す。	B		
		授業で必要な予習と授業後の復習を促す。	B		
		定期的な家庭学習時間調査による実態把握とそれを活用した面談指導を行う。	B		
		各考査前に学習計画を作成・提出させ、学習計画を指導する。	B		
下校時刻遵守により自宅学習時間の確保を図る。	A	A			
⑤進路学習等を通し進路意識を深めさせ、高校卒業後の進路目標の達成に向け、個に応じた対応の充実を図る。	進路講演会、学部学科説明会、学習合宿等を実施し、進路意識や学力の向上を図る。		A		
	年次・進路・教科が連携して入試対策の面接指導や小論文指導を強化する。		A		
	進路に応じた個別指導を実施する。	B			

2 学習活動と生徒会活動・部活動について教職員の共通理解を深め、現実的で効果が期待できる方策を工夫・探求し、実践する。	①生徒会や部活の運営・指導の充実を図る。	生徒会活動を全校生徒にアピールし、執行部の増員、質の向上を図る。	B	B	A
		生徒会行事について、活発な意見、アイデアが出されるようにLHRを活用する。	B		
		各部活動での目標の設定とその実現に向けた効果的な方策を探る。	B		
	②日・週単位の家庭学習時間の確保を図る。	日・週単位の家庭学習時間を確保できるよう、年次便り等を発行して啓発する。	A	A	
	③部活動や余暇と学習との切り替え指導の徹底を図る。	「1日の中での切り替え。平日と土日の切り替え。定期考査1週間前からの切り替え。3年生生活引退時からの切り替え。」を強く意識させる。	A	A	
		補習、模試、学習合宿等と部活動（練習・合宿・遠征等）との調整を行う。	B		
	④保護者や地域との連携を深め、学校運営や生徒指導への活用を図る。	学校評議員会と地域の声を聞く会を充実させ、学校運営に生かす。	A	A	
		P T A活動を活性化するとともに、P T A関係行事の内容、開催期日等に配慮し、可能な限り参加しやすい環境を整える。	A		
3 基本的な生活習慣を確立させ、保健と安全及び情報に関する自己管理能力を高めさせる。また、心の健康問題にも配慮した対応を行う。	①授業第一の規則正しい生活、服装・マナー指導の充実を図るとともに、挨拶を励行する。	担任・年次団と連携し、服装・頭髪指導の徹底を図る。	B	A	
		定期的な校門指導を実施するとともに、生徒の状況に応じて随時指導を行う。	A		
	②交通安全指導、大量消費社会・情報社会に必要な指導を図る。	私物（貴重品、携帯電話等）の自己管理を徹底し、管理意識を喚起する。	A	B	
		スマートフォンや携帯電話の使用についてルールとマナーを指導する	B		
	③保健管理と保健教育を計画的に実施し、安全や健康への意識を高める指導の充実を図る。	街頭交通安全指導・バイク実技講習を通して交通安全の意識を喚起する。	B		
		季節や行事に応じた心身の健康の保持・増進(体調の自己管理、心のケア、ケガ防止)への啓発を行う。	A	A	
		救急法講習会（職員向け、生徒向け）を実施し、緊急時の救急体制の充実を図る。	B		
	継続的な支援を要する生徒に対し、担任・年次と連携を図り、問題の解決に向け対応にあたる。	B			
	④災害発生時に安全な行動がとれる意識・態度の向上を図る。	感染症の予防対策、及び感染症発生時の流行拡大防止への対応を迅速に行う。	A	B	
		避難訓練を計画的に実施し、普段から災害に備える意識づけを行う。	B		
	⑤校舎内外の美化に努め、快適な学習環境保持への意識向上を図る。	清掃指導、整理整頓、ゴミ分別指導から、新校舎をきれいに使おうとする意識向上を行う。	A	A	
		各クラスによる清掃用具の整理整頓、及び整美委員による定期的な点検と補充整備に努める。	A		
整美委員による定期的な外清掃の実施や校地内の美化に向けた啓発を行う。		A			
⑥教育相談や特別支援教育の充実を図る。	特別な支援を要する生徒及び不登校傾向の生徒の早期把握に努める。	A	A		
	必要に応じケース会議を実施し、共通理解を図るとともに支援の方策を検討し、年次・委員会・保健室・スクールカウンセラーとの連携により、状況の改善に向けた組織的な対応を図る。	A			
4 進学重視型単位制の円滑な推進を進める。	①進学重視型単位制推進に向けて、学校理念や教育課程の編成等に基づき、教育活動を実践する。	進学重視型単位制推進のため教務事務システムの円滑な運用を進める。	A	A	
		新たな教育課程に基づき、進路希望の実現に向けた指導体制を構築する。	A		
	②進学重視型単位制推進に向けて、ホームページや説明会等とおして中学生、保護者及び中学校をはじめとする地域に対して情報を発信する。	情報発信の効果的な手法について検討し、実行していく。	A	A	
5 生徒の人権意識を高めるよう人権教育の充実に努める。	①いじめ等の発見から解決まで学校全体で組織的に迅速に対応するため、指導体制を確立する。	定期的にいじめ等に関するアンケートを実施し、情報の共有化を図る。	A	A	
		②人権意識を高める指導について工夫し、人権教育について教職員の共通理解を図る。	人権に関する生徒対象の講演会、職員対象の研修会を実施し、意識の啓発を図る。		A
		③いじめの未然防止に向けて計画的な指導を行うとともにいじめの起こらない学校づくりに努める。	年次集会、LHR等により、いじめに対する意識の啓発を図る。また、職員対象の研修会で理解を深める。		A
成 果				総合評価	
				A	